



# はじめに

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphere

NetApp  
September 29, 2025

# 目次

はじめに .....	1
導入の概要 .....	1
既存ユーザ向けの導入ワークフロー .....	1
SCV の導入要件 .....	2
導入の計画と要件 .....	2
必要な最小 ONTAP 権限 .....	7
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere OVA（オープン仮想アプライアンス）のダウンロード .....	8
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入 .....	8
導入後に必要な処理と問題 .....	12
導入後に必要な処理 .....	12
発生する可能性がある導入の問題 .....	12
認証エラーを管理します .....	13
バックアップを移行するためのクレデンシャルの作成 .....	13
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を SnapCenter サーバに登録 .....	14
SnapCenter VMware vSphere Web Client にログインします .....	15

# はじめに

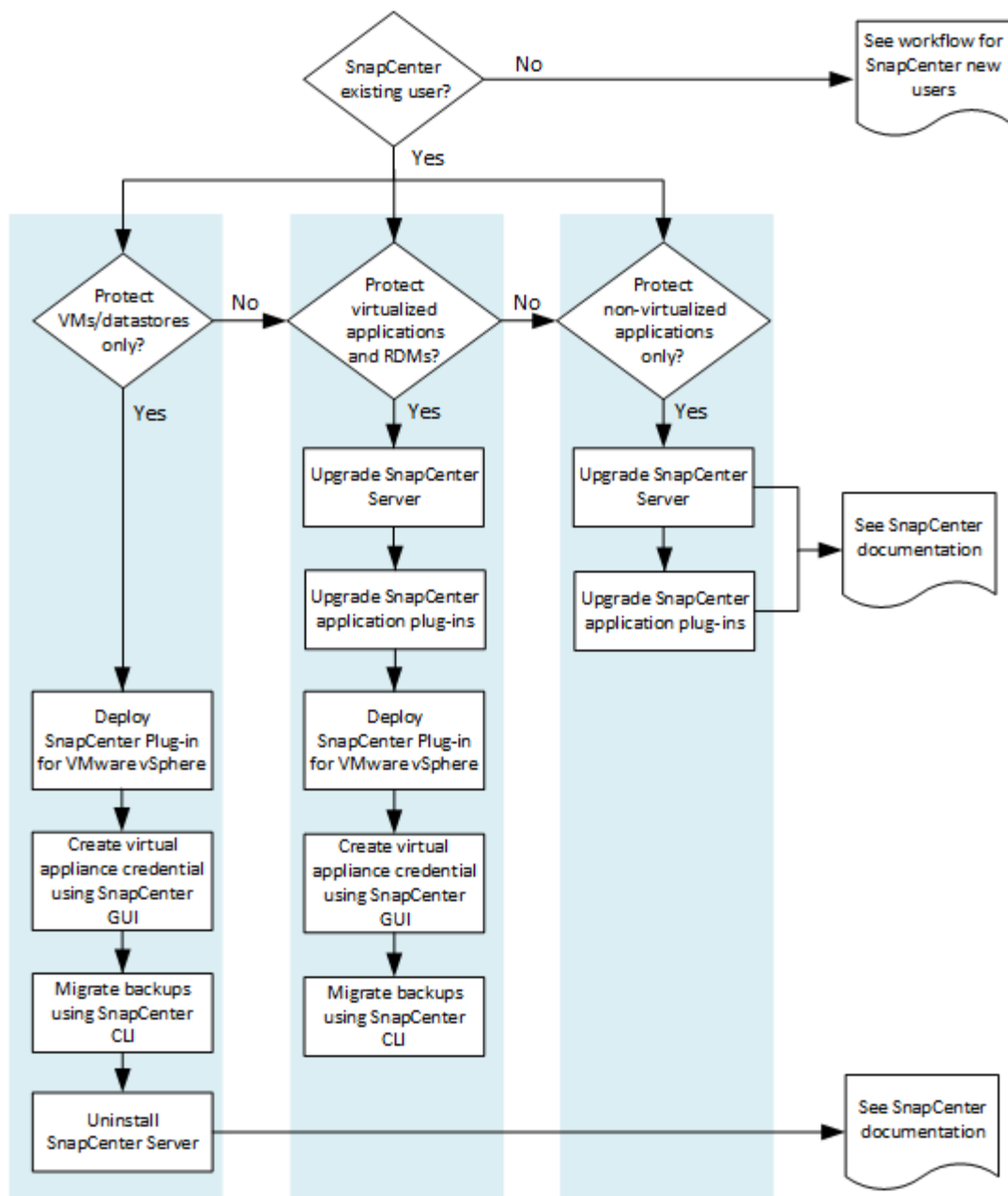
## 導入の概要

SnapCenter の機能を使用して仮想マシン、データストア、およびアプリケーションと整合性のあるデータベースを保護するには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入する必要があります。

既存の SnapCenter ユーザは、新しい SnapCenter ユーザとは異なる導入ワークフローを使用する必要があります。

## 既存ユーザ向けの導入ワークフロー

SnapCenter を使用しており、SnapCenter バックアップを作成している場合は、次のワークフローに従ってください。



## SCV の導入要件

### 導入の計画と要件

仮想アプライアンスを導入する前に、導入要件を確認しておく必要があります。導入要件を次の 4 つの表に示します。

#### ホストの要件

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の導入を開始する前に、ホスト要件を確認しておく必要があります。

- SnapCenter VMware プラグインを Linux VM として導入する必要があります。

SnapCenter VMware プラグインは、プラグインを使用して Windows システムと Linux システムのどちらのデータを保護しているかに関係なく、Linux VM として導入されます。

- SnapCenter VMware プラグインを vCenter Server に導入する必要があります。

バックアップスケジュールは、SnapCenter VMware プラグインが導入されているタイムゾーンで実行されます。vCenter では、vCenter が配置されているタイムゾーンでデータが報告されます。そのため、SnapCenter VMware プラグインと vCenter が異なるタイムゾーンにある場合は、SnapCenter VMware プラグインダッシュボードのデータがレポートのデータと同じでないことがあります。

- SnapCenter VMware プラグインは、名前に特殊文字が含まれるフォルダには導入しないでください。

フォルダ名には、\$ ! @ # % ^ & ( ) \_ + { } ' ; , \* ? " < > | という特殊文字は使用できません

- vCenter Server ごとに、個別の SnapCenter VMware プラグインインスタンスを導入して登録する必要があります。

- 各 vCenter Server は、リンクモードかどうかに関係なく、SnapCenter VMware プラグインの個別のインスタンスとペアリングする必要があります。
- SnapCenter VMware プラグインの各インスタンスを個別の Linux VM として導入する必要があります。

たとえば、6 つの異なる vCenter Server インスタンスからバックアップを実行する場合は、6 つのホストに SnapCenter VMware プラグインを導入し、各 vCenter Server を SnapCenter VMware プラグインの一意のインスタンスとペアリングする必要があります。

- SnapCenter VMware プラグインは、Storage vMotion のサポートにおける仮想マシンの制限により、共有 PCI デバイスまたは PCIe デバイス（NVIDIA Grid GPU など）を限定的にサポートします。詳細については、ベンダーが提供している『Deployment Guide for VMware』を参照してください。

- サポートされる内容：

リソースグループを作成しています

VM 整合性なしでバックアップを作成する

すべての VMDK が NFS データストアにあり、かつ Storage vMotion を使用する必要がない場合の VM 全体のリストア

VMDK の接続と接続解除

データストアのマウントとアンマウント

ゲストファイルのリストア

- サポートされない機能：

VM と整合性のあるバックアップを作成しています

VMFS データストア上にある VMDK が 1 つ以上ある場合の VM 全体のリストア

- SnapCenter VMware プラグインの制限事項の詳細については、を参照してください "『[SnapCenter Plug-in for VMware vSphere リリースノート](#)』"。

## ライセンス要件

次のライセンスを提供する必要があります。	ライセンス要件
ONTAP	次のいずれか： SnapMirror または SnapVault （関係のタイプに関係なくセカンダリデータ保護を行う場合）
その他の製品	Storage vMotion を使用するリストア処理を実行するには、vSphere Standard、Enterprise、または Enterprise Plus vSphere ライセンスが必要です。vSphere Essentials または Essentials Plus ライセンスには、Storage vMotion は含まれません。
主な目的地	VMware SnapCenter 標準を使用してアプリケーションベースの保護を実行し、VMware の VM とデータストアのみの SnapRestore を保護する：リストア処理に使用 FlexClone ：マウント処理と接続処理に使用
セカンダリデスティネーション	VMware SnapCenter Standard を介してアプリケーションベースの保護を実行する場合：VMware の VM とデータストアのみ FlexClone の保護を実行するフェイルオーバー処理に使用：マウント処理と接続処理に使用します

## ソフトウェアサポート

項目	サポートされるバージョン
vCenter vSphere	HTML5 クライアント： 6.5U2/U3、6.7x、7.0、7.0U1、7.0U2 Flex クライアントはサポートされていません。
ESXi	6.5U2,
IP アドレス	IPv4、IPv6
Java	8.
.Net コア	2.1
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere MySQL データベース	MySQL 8.0.23 の場合
VMware TLS	1/2
SnapCenter サーバ上の TLS	TLSv1.1 以降 SnapCenter サーバは、SnapCenter VMware プラグインとの通信を使用して、VMDK 経由のデータ保護処理をアプリケーションに提供します。
VMware Application vStorage API for Array Integration（VAAI）	SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は、この設定を使用してリストア処理のパフォーマンスを向上させます。また、NFS 環境のパフォーマンスも向上します。

サポートされているバージョンの最新情報については、を参照してください ["NetApp Interoperability Matrix Tool で確認できます"](#)。

## スペースとサイジングの要件

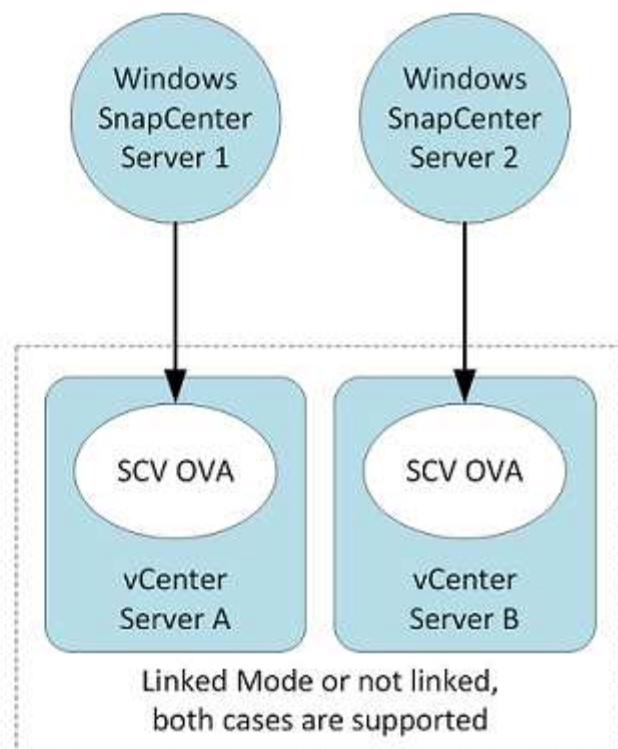
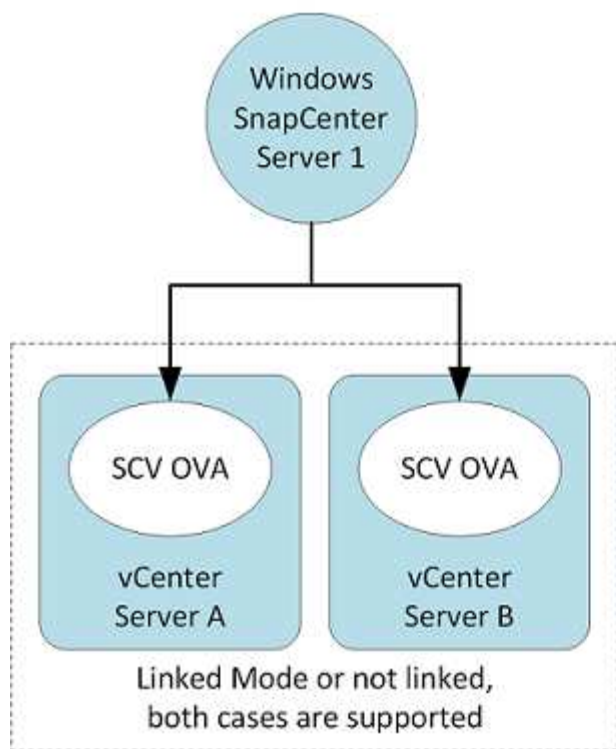
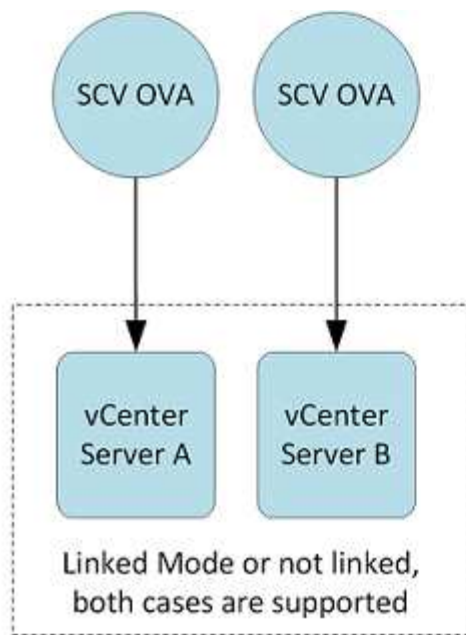
項目	要件
オペレーティングシステム	Linux の場合
最小 CPU 数	4 コア
最小 RAM	最小： 12GB 。推奨： 16GB
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 、ログ、および MySQL データベースの最小ハードドライブスペース	100 GB

## 接続とポートの要件

ポートのタイプ	事前設定されたポート
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere のポート	8144 （ HTTPS ） 。双方向のポートは、 VMware vSphere Web Client と SnapCenter Server からの通信に使用されます。 8080 Bidirectional このポートは仮想アプライアンスの管理に使用されます。注：ポート設定は変更できません。
ストレージクラスタまたは Storage VM ポート	443 （ HTTPS ） 、双方向 80 （ HTTP ） 、仮想アプライアンスと Storage VM または Storage VM を含むクラスタ間の通信に使用されるポート。

## サポートされる構成

各プラグインインスタンスでサポートされる vCenter Server は 1 つだけです。リンクモードの vCenter がサポートされます。次の図に示すように、複数のプラグインインスタンスで同じ SnapCenter サーバをサポートできます。



## RBAC 権限が必要です

vCenter 管理者アカウントには、次の表に示す vCenter 権限が必要です。

この操作を実行するには ...	次の <b>vCenter</b> 権限が必要です ...
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入して vCenter に登録	拡張子：拡張子を登録します



この操作を実行するには ...	次の <b>vCenter</b> 権限が必要です ...
SnapCenter Plug-in for VMware vSphere をアップグレードまたは削除します	内線番号 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 拡張機能を更新します</li> <li>• 拡張機能を登録解除します</li> </ul>
SnapCenter に登録された vCenter Credential ユーザアカウントに、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere へのユーザアクセスが検証されるようにします	sessions.validate.session
ユーザに SnapCenter Plug-in for VMware vSphere へのアクセスを許可します	SCV Administrator Backup SCV Guest File Restore SCV Restore SCV View 権限が vCenter ルートで割り当てられている必要があります。

## AutoSupport

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は、プラグインの URL など、その使用状況を追跡するための最小情報を提供します。AutoSupport には、AutoSupport ビューアによって表示されるインストール済みプラグインの表が含まれています。

## 必要な最小 **ONTAP** 権限

必要な最小 ONTAP 権限は、データ保護に使用する SnapCenter プラグインによって異なります。

すべての SnapCenter プラグインには、次の最小権限が必要です。

フルアクセスコマンド： <b>ONTAP 8.3</b> 以降に必要な最小権限
event generate-autosupport-log を指定します
job history show job stop コマンドを実行しました
lun lun create lun delete lun igroup add lun igroup create lun igroup delete lun igroup rename lun igroup rename lun igroup show lun mapping add-reporting-nodes lun mapping create lun mapping remove-reporting-nodes lun mapping show lun modify lun move-in-volume LUN offline LUN online lun persistent-reservation clear lun resize lun serial lun show をクリックします
snapmirror list-destinations snapmirror policy add-rule snapmirror policy modify -rule snapmirror policy show snapmirror restore snapmirror show -history snapmirror update snapmirror update-ls-set
バージョン
volume clone create volume clone show volume clone split start volume clone split stop volume create volume file clone create -volume file show-disk-usage volume online volume modify volume qtree create volume qtree delete volume qtree modify volume qtree show volume snapshot create を実行します volume snapshot delete volume snapshot modify volume snapshot rename volume snapshot restore volume snapshot restore-file volume snapshot show volume unmount

フルアクセスコマンド： **ONTAP 8.3** 以降に必要な最小権限

vserver cifs share create vserver cifs share create vserver cifs share delete vserver cifs shadowcopy show  
vserver cifs share show vserver cifs share show vserver cifs show vserver export-policy vserver export-policy  
vserver export-policy vserver export-policy create vserver export-policy rule create vserver export-policy rule  
create vserver export-policy rule show vserver export-policy rule show vserver iscsi vserver iscsi vserver iscsi  
connection show vserver show network interface network interface failover-groups network interface show を  
実行します

読み取り専用コマンド： **ONTAP 8.3** 以降に必要な最小権限

Vserver

## ONTAP に関するその他の情報

- ONTAP 8.2.x を実行している場合：

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の処理を実行するための適切な権限を取得するには、Storage VM の「vsadmin」としてログインする必要があります。

- ONTAP 8.3 以降を実行している場合：

「vsadmin」としてログインするか、上記の表に記載された最小権限を持つロールでログインする必要があります。

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphere OVA（オープン仮想アプライアンス）のダウンロード

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 用の「.ova」ファイルは、ネットアップサポートサイトからダウンロードできます。

「.ova」ファイルには、VM およびデータストアデータ保護用のマイクロサービスが含まれています。これらは、SnapCenter VMware プラグインによって実行されます。導入が完了すると、環境内の Linux VM にすべてのコンポーネントがインストールされます。

### 手順

1. ネットアップサポートサイト（"<https://mysupport.netapp.com/products/index.html>"）。
2. 製品のリストから、「SnapCenter Plug-in for VMware vSphere \*」を選択し、「最新リリースをダウンロード」ボタンをクリックします。
3. SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の .ova ファイルを任意の場所にダウンロードします。

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入

SnapCenter の機能を使用して仮想マシン、データストア、およびアプリケーションと整合性のあるデータベースを保護するには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入する必要があります。

作業を開始する前に

- 導入の要件を確認しておく必要があります。

導入ウィザードでは、必要なスペースが検証されません。データストアに十分なスペースがないと、導入は成功したように見えても、仮想アプライアンスはブートしません。

- サポートされているバージョンの vCenter Server を実行している必要があります。
- vCenter Server 環境を設定およびセットアップしておく必要があります。
- SnapCenter VMware プラグイン VM の ESXi ホストのセットアップが完了している必要があります。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphere.ova ファイルをダウンロードしておく必要があります。
- vCenter Server インスタンスのログインクレデンシャルが必要です。
- 問題 VMware プラグインの導入時にブラウザキャッシュ SnapCenter が発生しないように、vSphere Web Client のすべてのブラウザセッションからログアウトして、ブラウザを閉じておく必要があります。
- vCenter で Transport Layer Security (TLS) を有効にしておく必要があります。VMware のドキュメントを参照してください。
- SnapCenter VMware プラグインは、VSC 7.x 以降の仮想アプライアンスと同じ vCenter に導入できます。
- SnapCenter VMware プラグインを導入した vCenter 以外の vCenter でバックアップを実行する場合は、ESXi サーバ、SnapCenter VMware プラグイン、および各 vCenter が同時に同期されている必要があります。

SnapCenter VMware プラグインを vCenter と同じタイムゾーンに導入します。バックアップスケジュールは、SnapCenter VMware プラグインが導入されているタイムゾーンで実行されます。vCenter では、vCenter が配置されているタイムゾーンでデータが報告されます。そのため、SnapCenter VMware プラグインと vCenter が異なるタイムゾーンにある場合は、SnapCenter VMware プラグインダッシュボードのデータがレポートのデータと同じでないことがあります。

## 手順

1. ブラウザから VMware vSphere vCenter にアクセスします。



IPv6 HTML Web クライアントの場合は、Chrome または Firefox のいずれかを使用する必要があります。

2. VMware の画面で、\* vSphere Web Client (HTML5) \* をクリックします。
3. VMware vCenter Single Sign-On \* ページにログインします。
4. Navigator ペインで、データセンター、クラスタ、ホストなどの仮想マシンの有効な親オブジェクトであるインベントリオブジェクトを右クリックし、\* Deploy OVF Template \* を選択して VMware Deploy ウィザードを起動します。
5. [Select an OVF template\*](OVF テンプレートの選択) ページで '.ova ファイルの場所 (次の表を参照) を指定し '[Next](次へ) をクリックします

「.ova 」ファイルを次の場所にダウンロードした場合	操作
インターネットのロケーション	URL を入力します。サポートされている URL ソースは、HTTP と HTTPS です。

「.ova」ファイルを次の場所にダウンロードした場合	操作
ローカルファイル	ファイルの選択 * をクリックし、.ova ファイルに移動します。

6. [名前とフォルダの選択 \*] ページで、VM または vApp の一意の名前を入力し、導入場所を選択して、[次へ \*] をクリックします。

この手順では、「.ova」ファイルを vCenter にインポートする場所を指定します。VM のデフォルト名は、選択した「.ova」ファイルの名前と同じです。デフォルト名を変更する場合は、vCenter Server の VM フォルダごとに一意の名前を選択します。

VM のデフォルトの導入場所は、ウィザードを開始したインベントリオブジェクトです。

7. [リソースの選択 \*] ページで、導入した VM テンプレートを実行するリソースを選択し、[次へ \*] をクリックします。
8. [\* Review details (レビューの詳細)] ページで、[.ova (.ova)] テンプレートの詳細を確認し、[Next] をクリックします。
9. [ライセンス契約 \*] ページで、[すべてのライセンス契約に同意します] のチェックボックスをオンにします。 \*
10. [\* ストレージの選択 \*] ページで、導入した OVF テンプレートのファイルの保存場所と保存方法を定義します。
- VMDK のディスク形式を選択します。
  - VM ストレージポリシーを選択します。

このオプションは、デスティネーションリソースでストレージポリシーが有効になっている場合にのみ使用できます。

- 導入した OVA テンプレートを保存するデータストアを選択します。

構成ファイルと仮想ディスクファイルはデータストアに格納されます。

仮想マシンまたは vApp および関連するすべての仮想ディスクファイルを格納できる十分な大きさのデータストアを選択してください。

11. [ネットワークの選択 \*] ページで、ソースネットワークを選択して宛先ネットワークにマップし、[次へ \*] をクリックします。

ソースネットワーク列には、OVA テンプレートで定義されたすべてのネットワークが表示されます。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere は、1 つのネットワークインターフェイスをサポートします。複数のネットワークアダプタが必要な場合は、手動でセットアップする必要があります。を参照してください ["技術情報アーティクル：「How to create additional network adapters」](#)。

12. [テンプレートのカスタマイズ] ページで、次の操作を行います。
- [\* Register to Existing vCenter\* (既存の vCenter に登録)] セクションで、vCenter 仮想アプライアンスのクレデンシャルを入力します。

[\*vCenter ユーザ名 \*] フィールドに、ユーザ名を「ドメイン\ユーザ名」の形式で入力します。

- b. Create SCV credentials \* セクションにローカルクレデンシャルを入力します。

[Username] フィールドに、ローカルユーザ名を入力します。ドメインの詳細は入力しないでください。



指定するユーザ名とパスワードを書き留めます。SnapCenter VMware プラグインの設定をあとで変更する場合は、これらのクレデンシャルを使用する必要があります。

- a. [ ネットワークプロパティの設定 \*] に、ネットワーク情報を入力します。

必要に応じて、IPv4、IPv6、またはその両方のフィールドを選択します。IPv4 と IPv6 の両方を使用する場合は、一方のプライマリ DNS だけを指定する必要があります。

- b. \* Setup Date and Time \* で、vCenter が配置されているタイムゾーンを選択します。

13. [ 完了準備完了 ] ページでページを確認し、[ 完了 ] をクリックします。

すべてのホストに IP アドレスが設定されている必要があります（FQDN ホスト名はサポートされません）。展開操作では、展開前に入力が検証されません。

OVF のインポートおよび導入タスクが完了するまでの間、Recent Tasks ウィンドウで導入の進捗状況を確認できます。

SnapCenter VMware プラグインの導入が完了すると、vCenter に登録された Linux VM として導入され、VMware vSphere Web Client がインストールされます。

14. SnapCenter VMware プラグインが導入された VM に移動し、\* 概要 \* タブをクリックしてから \* 電源オン \* ボックスをクリックして仮想アプライアンスを起動します。

15. SnapCenter VMware プラグインの電源をオンにした状態で、展開された SnapCenter VMware プラグインを右クリックし、\* ゲスト OS \* を選択して、\* VMware Tools のインストール \* をクリックします。

VMware Tools は、SnapCenter VMware プラグインが導入されている VM にインストールします。VMware Tools のインストールの詳細については、VMware のマニュアルを参照してください。

導入が完了するまでに数分かかることがあります。導入が成功すると、SnapCenter VMware プラグインの電源がオンになり、VMware ツールがインストールされ、SnapCenter VMware プラグインにログインするように求める画面が表示されます。

画面に、SnapCenter VMware プラグインが導入されている IP アドレスが表示されます。IP アドレスをメモします。SnapCenter の VMware プラグイン設定を変更する場合は、SnapCenter の VMware プラグイン管理 GUI にログインする必要があります。

16. 導入画面に表示された IP アドレスと導入ウィザードで指定したクレデンシャルを使用して、SnapCenter VMware プラグイン管理 GUI にログインし、ダッシュボードで SnapCenter VMware プラグインが vCenter に正常に接続されて有効になっていることを確認します。

管理 GUI にアクセスするには 'https://<appliance-IP-address>:8080' の形式を使用します

デフォルトでは、メンテナンスコンソールのユーザ名は「maint」に設定され、パスワードは「admin123」に設定されます。

SnapCenter VMware プラグインが有効になっていない場合は、を参照してください ["VMware vSphere Web Client Service を再起動します"](#)。

ホスト名が「 UnifiedVSC/SCV 」の場合は、アプライアンスを再起動します。アプライアンスを再起動してもホスト名が指定したホスト名に変更されない場合は、アプライアンスを再インストールする必要があります。

完了後

必要な設定を完了する必要があります ["導入後の処理"](#)。

## 導入後に必要な処理と問題

### 導入後に必要な処理

- 新しい SnapCenter ユーザ

新規の SnapCenter ユーザの場合は、データ保護処理を実行する前に、SnapCenter に Storage VM を追加する必要があります。Storage VM を追加するときは、管理 LIF を指定します。クラスタを追加し、クラスタ管理 LIF を指定することもできます。ストレージの追加については、を参照してください ["ストレージを追加します"](#)。

- 既存の SnapCenter ユーザ

既存の SnapCenter を使用している場合は、既存の SnapCenter VM とデータストアのバックアップとメタデータを移行する必要があります。移行の詳細については、を参照してください ["移行オプション"](#)。

### 発生する可能性がある導入の問題

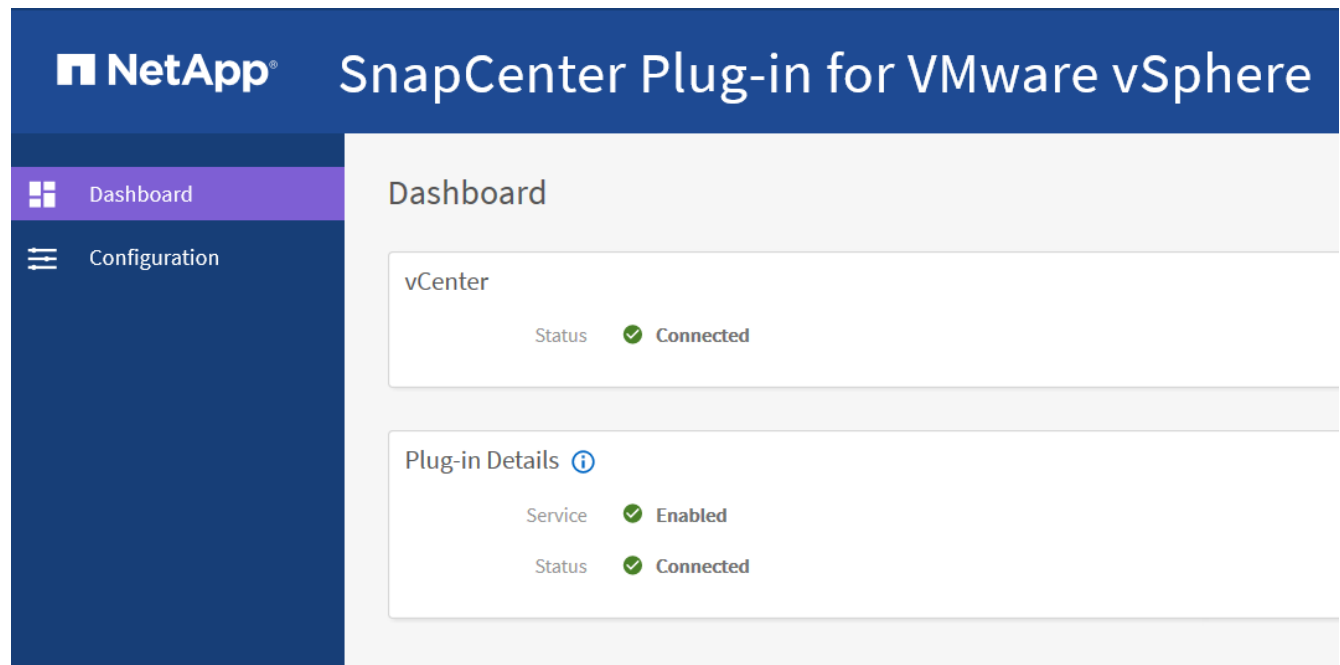
- 仮想アプライアンスの導入後、ダッシュボードの \* Backup Jobs \* タブに次のような状況でロードされないことがあります。
  - IPv4 を実行していて、SnapCenter VMware vSphere ホスト用の IP アドレスが 2 つある。その結果、ジョブ要求は SnapCenter サーバで認識されない IP アドレスに送信されます。この問題を無効にするには、次のように、使用する IP アドレスを追加します。
    - i. SnapCenter VMware プラグインが導入されている場所（`/opt/NetApp/scvservice/standalone_aegis/etc`）に移動します
    - ii. ファイル `network - interface.properties` を開きます。
    - iii. 「`network.interface=10.10.10.10``」フィールドに、使用する IP アドレスを追加します。
  - NIC が 2 つあります。
- SnapCenter VMware プラグインを導入したあとに、vCenter for SnapCenter Plug-in for VMware vSphere で MOB エントリに古いバージョン番号が表示されることがあります。これは、vCenter で他のジョブが実行されているときに発生することがあります。vCenter は最終的にこのエントリを更新します。
- Virtual Storage Console for VMware vSphere（VSC）が以前にインストールされていた VM の導入後またはアップグレード後に、次の状況が発生することがあります。
  - マウント、アンマウント、接続、接続解除の各処理に関する説明がある右クリックメニューが表示されません。

- VMware vSphere Web Client の GUI がマニュアルと一致しない。
- ダッシュボードが正しく表示されない。
- 通常の使用中に、ページ表示（リソースグループページなど）が停止したり、ロードが停止したりすることがあります。

これらの問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. ブラウザキャッシュをクリアし、GUI が正しく動作しているかどうかを確認します。

問題が解決しない場合は、VMware vSphere Web Client Service を再起動します



2. vCenter にログインし、ツールバーの \* メニュー \* をクリックして、\* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere \* を選択します。

## 認証エラーを管理します

管理者クレデンシャルを使用しないと、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の導入後または移行後に認証エラーが発生する場合があります。認証エラーが発生した場合は、サービスを再起動する必要があります。

### 手順

1. 「<https://<appliance-ip-address>:8080>」の形式で、SnapCenter VMware プラグイン管理 GUI にログインします。
2. サービスを再起動します。

## バックアップを移行するためのクレデンシャルの作成

SnapCenter を使用していて、VM と整合性のあるバックアップ、VM とクラッシュ整合性のあるバックアップ、またはアプリケーションと整合性のある仮想データのバックアップを使用している場合は、それらのバックアップを SnapCenter Plug-in for VMware vSphere に移行する必要があります。移行の前に、SnapCenter VMware プラグインのクレデンシャルを SnapCenter サーバに追加する必要があります。



作業を開始する前に

- SnapCenter サーバ 4.2 以降が実行されている必要があります。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入して有効にしておく必要があります。

手順

1. SnapCenter GUI の左ナビゲーションペインで、\* 設定 \* をクリックします。
2. [ 設定 ] ページで、[Credentials] をクリックし、[\*New] をクリックしてウィザードを開始します。
3. 次の表に示すクレデンシャル情報を入力します。

フィールド名	操作
クレデンシャル名	クレデンシャルの名前を入力します。
ユーザ名	SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の導入時に指定したユーザ名を入力します。
パスワード	SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の導入時に指定したパスワードを入力します。
認証	「* Linux *」を選択します。

## SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を SnapCenter サーバに登録

SnapCenter でアプリケーションオーバー VMDK ワークフロー（仮想化されたデータベースおよびファイルシステム用のアプリケーションベースの保護ワークフロー）を実行する場合は、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を SnapCenter サーバに登録する必要があります。

SnapCenter を使用していて、SnapCenter 4.2 にアップグレードし、アプリケーション over VMDK のバックアップを SnapCenter Plug-in for VMware に移行した場合は、移行コマンドによってプラグインが自動的に登録されます。

作業を開始する前に

- SnapCenter サーバ 4.2 以降が実行されている必要があります。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入して有効にしておく必要があります。

このタスクについて

- SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を SnapCenter サーバに登録するには、SnapCenter GUI を使用して「vSphere」タイプのホストを追加します。

ポート 8144 は、SnapCenter VMware プラグイン内の通信用に事前定義されています。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の複数のインスタンスを同じ SnapCenter Server 4.2 に登録することで、VM に対するアプリケーションベースのデータ保護処理をサポートできます。複数の SnapCenter Server に同じ SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を登録することはできません。

- リンクモードの vCenter の場合は、vCenter ごとに SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を登録する必要があります。

手順

1. SnapCenter GUI の左ナビゲーションペインで、**Hosts** をクリックします。



2. 上部で [Managed Hosts] タブが選択されていることを確認し、仮想アプライアンスのホスト名を見つけて、SnapCenter サーバから解決されることを確認します。
3. 「\* 追加」をクリックしてウィザードを開始します。
4. [Add Hosts] ダイアログ・ボックスで ' 次の表に示すように SnapCenter サーバに追加するホストを指定します

フィールド名	操作
ホストタイプ	ホストのタイプとして「* vsphere *」を選択します。
ホスト名	仮想アプライアンスの IP アドレスを確認します。
クレデンシャル	導入時に指定した SnapCenter VMware プラグインのユーザ名とパスワードを入力します。

5. [Submit (送信) ] をクリックします。

VM ホストが正常に追加されると、[Managed Hosts] タブに表示されます。

6. 左側のナビゲーションペインで、\* 設定 \* をクリックし、\* 資格情報 \* タブをクリックして、をクリックします **+** \* 仮想アプライアンスのクレデンシャルを追加するには、\* を追加します。
7. SnapCenter Plug-in for VMware vSphere の導入時に指定したクレデンシャル情報を入力します。



[Authentication] フィールドに [Linux] を選択する必要があります。

完了後

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere のクレデンシャルが変更された場合は、SnapCenter の管理対象ホストページを使用して SnapCenter サーバで登録を更新する必要があります。

## SnapCenter VMware vSphere Web Client にログインします

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere を導入すると、vCenter に VMware vSphere Web クライアントがインストールされます。このクライアントは、他の vSphere Web クライアントとともに vCenter の画面に表示されます。

作業を開始する前に

vCenter で Transport Layer Security (TLS) を有効にする必要があります。VMware のドキュメントを参照してください。

手順

1. ブラウザから VMware vSphere vCenter にアクセスします。
2. VMware の画面で、\* vSphere Client (HTML5) \* をクリックします。
3. VMware vCenter Single Sign-On \* ページにログインします。



[\* ログイン \*] ボタンをクリックします。VMware 問題が認識されているため、Enter キーを使用してログインしないでください。詳細については、ESXi Embedded Host Client の問題に関する VMware のドキュメントを参照してください。

4. VMware vSphere Web Client \* ページで、ツールバーのメニューをクリックし、\* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere \* を選択します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。